

第1学年国語科の学習では、「ひらがな」の学習を行います。

入学するまでに「ひらがな」を読むことは殆どの児童ができるようですが、「ひらがな」を書き順どおりに丁寧に書くことができるようになるのは第1学年国語科の学習です。

今日は、ひらがなの「お」と「な」を学習する時間で、私が教室に行ったときは「な」を学習しているところでした。

平仮名の学習では、学習する平仮名の「読み方」「書き方」はもちろんのこと、学習する平仮名を使ったことばを子どもたちに考えさせ出させるようにします。知っている言葉に学習している平仮名が使われているということで子どもたちは学習した平仮名を覚えやすくなります。



「な」のつく言葉を発表する1年生

「お」「な」のつく言葉を声に出して言う子どもたち

「な」では、「なす」「なし」「なわとび」「ながぐつ」「なべ」「なすび」「なしのき」「なわ」「なんじゃじゃものがたり」「なつ」が出ました。

その後は、「な」の書き順を確かめて平仮名ワークシートの大きな「な」を丁寧になぞっていました。全員がなぞり終わると、手を上げて空中で書き順に沿って3回ゆっくりと「な」を書き、その中で書き順を間違っている子はいないか、担任の田中先生は確かめておられました。



空中で書き順に沿って「な」を書く子どもたち

「な」を平仮名ワークシートに練習する1年生

その後、子どもたちは平仮名ワークシートに「な」の字を練習していましたが、どの子も一生懸命に丁寧な字を書いていた。

15:47

本校と田原小学校では、第6学年の図画工作科の学習において、昨年度までご指導いただいた維孝館中学校美術科目の中川晃宏先生に替わって藤井奈央子先生に週に1度指導していただいています。

現在、6年の子どもたちは、「遠近法」を生かした校舎の絵の下描きをしています。
今日、6年2組の教室に行きますと、鉛筆で下絵を描いているところでした。



「遠近法」を生かし、校舎の下絵を描く子どもたち

子どもたちの絵を見せてもらいましたが、遠近法を生かし上手に校舎の絵を描いていました。

16:21

2021/05/06 第2学年算数科「長さ」の学習から

  | by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管

第2学年算数科では「長さ」の学習を行います。1時間目の授業では、以下のような学習を通して長さの単位「cm」を学びます。

- 1 ある2つの物の長さを測定する場合、2つの物の長さを直接比較する。
すると、どちらが長いかが分かります。しかし「どれだけ長いか」までは比べることができません。
- 2 また、長さを比較するのに、「長さの違った2つの物」いくつ分で比較しても正確には比べられません。教科書では、ある魚の長さがウサギの握りこぶし3つ分、もう一匹の魚の長さがリスの握りこぶし4つ分であると示してあり、どちらが長いか問うています。
- 3 前述の1, 2から「ある1つの物の長さ(任意単位)」のいくつ分を使用すると長さが比べられるというふうに学習を進めています。
- 4 そして、世界のどこでも使える長さの共通の単位(普遍単位)として、「cm」を学びます。

この学習過程は、なぜ「cm」という単位があるのかを理解するために大切な学習となります。また、1, 2, 3の学習過程では、「直接比べる」や「ある物を使って測定する」などの数学的活動(操作活動)を行うことが大切です。

今日、2年2組の教室に行きますと、ちょうど「長さ」の学習の1時間目の授業を行っていました。前述の1, 2の学習は教科書の絵などを見ながら学習していました。

そして、3の学習では、数図ブロックを任意単位とした数学的活動(操作活動)を行い2匹の魚の長さを比べていました。



数図ブロック(任意単位)による長さ比べ

そして、前述の1～3の学習を終えた後、「cm」という単位について学習し「cm」の書き方を学習しました。



電子黒板を使って「cm」の書き方を学ぶ

「cm」を書く練習

大人の私たちにとっては簡単な内容であっても、2年の子どもたちをしっかりと理解に導くには、時間をかけた丁寧な指導が大切になります。